

# がまこおり 議会 だより

## ● 9 月市議会定例会 ●

- 一般質問…ここが論点…………… 2～5
- 議決された主な議案…………… 6～9  
15 年度決算を認定
- 委員会通信  
委員会の行政視察報告…………… 10～11
- 議会日誌、12 月定例会予定…………… 12

NO. 41  
2004 11/1



# 一般質問…ここが論点

## 9月定例会

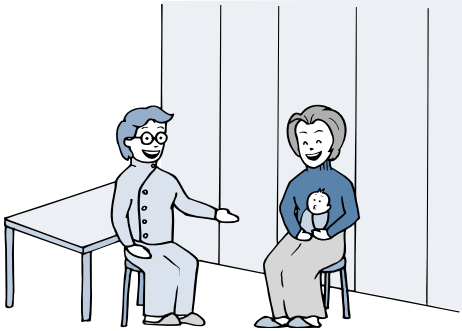
9月定例会中、8日、9日、10日の3日間で、市政全般について12人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載予定はいずれも12月上旬です。

松本昌成（公明党）

発達障害支援体制の充実を

**問** 乳幼児期の現状と対応について伺う。

**答** 発達に遅れのある子どもは、年々増加傾向にあり、現在支援を受けている子どもは一歳半から七歳までの八十名となっている。また、年八回児童精神科医による幼児発達相談を行っているが、相談件数は年々増加している。支援としては、保健センターの保健師等が、子ども及び母親に「なかよし広場」を通じて支援している。



**問** 就学期の特別支援教育の現状と対応及び関係機関との連携について伺う。

**答** 今年三月実施の愛知県今年三月実施の愛知県

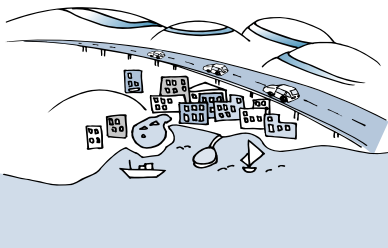
の調査で、蒲郡市には発達障害が疑われる児童生徒が百九十四人、全体の二・六％いることがわかった。そのうち発達障害があると医師等に正式に診断された児童生徒は三十三人で、このうち十四人については、現在、三谷小学校の通級指導教室「たんぽぽ」の担当教員と特殊教育指導補助員による指導の二つで対応している。また、就学前後の関係機関の連携については、学校と保育園、幼稚園と今後、より密にしていきたい。

喚田孝博（新政クラブ）

愛・地球博開催時の  
当市への誘客について

**問** 愛・地球博開催に向けて、観光客誘客のため

どのようにPRしていくか。また、開催期間中にシャトルバスを運行してはどうか。今まで取り組んできた宣伝や誘客事業を継続



しながら観光業界で構成する企画推進委員会での検討及び業界のアイデアに期待する。なお、シャトルバスについては、観光業界と検討を重ねているが、費用面が大きな課題となっている。実施の可能性を求めて業界とさらに詰めていきたい。

まちそだての担い手育成を

**問** 蒲郡にふさわしい協働のあり方を検討中と思うが、まちそだての担い手育成について伺う。

**答** 今年度末を目標に協働のまちづくり指針またはルールブックを作成する予定で、協働のまちづくり委員会が検討している。これにより、グループづく

りのきっかけを提供したい。

その他の質問

1 蒲郡駅前広場整備

伴 捷文（市政クラブ）

中学生海外派遣事業の継続を

**問** 蒲郡市教育文化振興会の経営状況が厳しいが、中学生海外派遣事業の今後の方針を伺う。

**答** 蒲郡市教育文化振興会の運用資金が年々少なくなっており、来年度の実施は大変厳しい状況が予想されるが、他国の中学生との交流やホームステイ等の経験を通して、国際感覚と豊かな心を育成するためにも、派遣事業は価値あるものと認識している。教育委員会としては、従来どおり継続させていきたい。

竜田浜海浜公園計画

**問** 竜田浜海浜公園計画の具体的な今後の見通し



を尋ねる。

**答** 昨年より、「白砂青松の復活と飛砂防止」をコンセプトに緑地の構想をまとめている。その構想は約三百mの海岸線に沿って松の苗木を帯状に植栽して松林になるようにして、人工構造物をできるだけつくらず、砂浜とマッチした昔の海岸線のイメージを再現する。なお、来年度から逐次整備を進めていきたい。

大場久充 (市政クラブ)

第二退職金の廃止を

**問** 第二退職金といわれる職員互助会からの退会



一時金は廃止し、市からの交付金の投入も違法との判決があるので中止すべきではないか。

**答** 退会一時金は、互助会が行っている共済給付事業の一つで、第二退職金ではない。しかし互助会運営も厳しくなってきたので、今後は見直すことも考えられる。

高裁での判決内容、経緯などはよく勉強し、検討させていただきたい。

給食費の滞納について

**問** 給食費の滞納はあるか。その対策はどうか。また、前納制度を導入する考えはないか。

**答** 平成十一年度から十五年度までで十八名、五十万円弱が未納である。

その対策は児童生徒が在籍中は、学校を通じ督促するが、卒業、転居後二年間は給食会が督促し、二年経過後に不納欠損処理を行っている。

前納制度は、現段階での導入は難しい。

藤田勝司 (市政クラブ)

市財政について

**問** 職員定数、各種手当等の見直しをどう考えているか。補助金、使用料及び手数料についてはどうか。市所有の施設のうち不要となったものは、統廃合すべきでないか。また、ボランティア団体等を育成し、管理を依頼したらどうか。

競艇場においても人件費、広告宣伝、岡崎市との利益配分の見直しなどを進めるべきだと思うがどうか。

**答** 職員の削減は計画以上に達成しているが、今



後も引き続き削減に努めていく。調整手当等の見直しは、できるものから進めていきたい。

補助金は十三年度、使用料、手数料は十五年度に見直しを行った。受益者負担、公平性の観点から引き続き見直しを進める。

十八年度から指定管理者制度が導入されることに伴い、現在、施設の管理は見直しが行われつつある。競争原理が働き、より効率の良い管理委託ができるものと考ええる。

競艇場の人件費、広告宣伝、岡崎市交付金の見直し等については、競艇職員が一丸となり努力している。

伊藤勝美 (公明党)

地震防災について

**問** 耐震力が不足している宮成防災倉庫の備蓄食糧及び資機材の取り扱いについて伺う。

**答** 代替施設の確保、あるいは一時的に他の施設へ移すことなどを行い、防

宮成防災倉庫



災体制の万全を図りたい。

**問** 県教育委員会が地震対策マニュアルを策定しているが、本市の状況はどうか。

**答** 各学校ごとに安全マニュアルを作成し、地震への非常配備、安全避難の方法を定めている。しかし、実際に学校が避難所になった場合の対応は、十分に検討されていないので、現在、避難所マニュアルづくりを進めている。

**問** 地震注意情報発表時、市民への情報提供の時期と伝達方法を伺う。また、

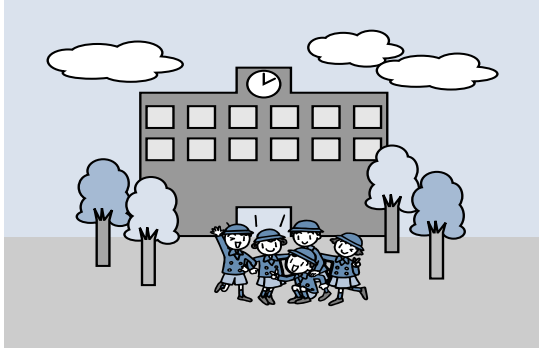
外国人への周知はどのよう  
に考えているか。

**答** 東海地震注意報発表の  
段階から同報無線、広  
報車、電話を使用して行う。  
警戒宣言発令時の外国人  
への呼びかけは英文を用意  
する。あらかじめ準備でき  
る定例的な啓発などは、英  
語以外の外国語にも対応で  
きる体制を整えていきたい。

**波多野努**(新政クラブ)

これからの教育問題  
について

**問** 政府や文部科学省は、  
六・三制の見直しなど



各自自治体の自由裁量を拡大  
する施策を提示しているが、  
教育委員会の考えは。

**答** 授業が成り立たない、子  
供や保護者との信頼関係が  
築けないなど、指導力不足  
の教員が話題となっている。  
本市の現状と対応はどのよ  
うか。

**答** 教育改革と言われる様  
々な施策を考える上で、  
子供たち一人一人をきめ細  
かく指導し、生きる力を育  
むという基本的な姿勢の堅  
持が大切であると考えてい  
る。加えて、公立学校とし  
ての公共性や、教育水準の  
維持など多面的に検討し、  
対応していきたい。

指導力の向上を要すると  
される教員は、五月現在、  
全国で四百八十一名、愛知  
県で九名であるが、本市で  
は該当者はいない。今後も  
指導の充実を図っていく。

- その他の質問
- 1 総合型地域スポーツ  
クラブについて
  - 2 競艇事業の今後の展  
望と施設維持、管理に  
ついて

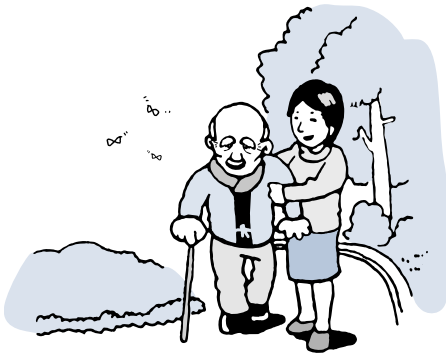
**日恵野佳代**(日本共産党)

介護保険利用料の  
軽減を

**問** 市の在宅サービス利用  
率は、所得の少ないお  
年寄りで県の平均よりも一  
〇%以上低くなっている。

県内では豊橋市、御津町、  
音羽町など二十七市町村が  
利用料の軽減を行っている。  
経済的な理由により介護を  
受けられないことのないよ  
う、直ちに軽減するよう求  
める。

**答** 厳しい財政状況の中、  
新たに助成制度を創設  
することは困難。今後の国  
の制度を注視・研究したい。



児童館にあすなる教室  
の分室設置を

**問** 不登校対策のあすなる  
教室は、中学生向きで、  
小学生などには部屋が殺風  
景でなじめない。児童館に  
あすなる教室の分室を設置  
してはどうか。

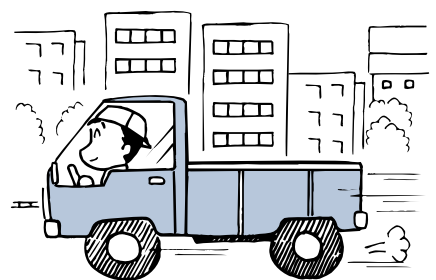
**答** 不登校の子供たちのた  
めに、会って話し合う  
場所を柔軟に考えるという  
ことは大切なことだと思っ  
て、しかし、限られた人数で管  
理運営している中では、そ  
ののための体制を取ることが  
難しい。引率者や指導者が  
いて、活用していただだけ  
るならばよいと考えている。

**柴田安彦**(日本共産党)

ディーゼル車規制対策  
に補助を

**問** 排気ガス規制が強化さ  
れ、年式により登録更  
新ができないディーゼル車  
が増えている。

市は県とともに早期代替  
補助制度を行っているが、  
制度を利用できるのは使用

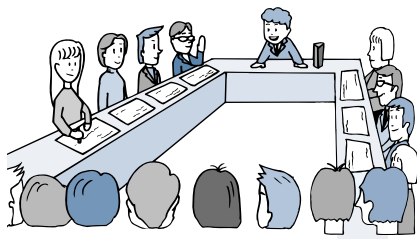


期限を二年以上前倒しして  
買いかえる場合となってい  
る。まだ乗れる車を買いか  
えるほど余裕のある事業者  
は少なく、零細な事業者で  
は事業継続の危機に陥って  
いる。事業者の事業継続を  
支援する立場から制度の改  
善を求める。

また、買いかえなくても  
規制をクリアできる後付装  
置が開発されている。この  
装置の取り付けに補助金を  
出してはどうか。

**答** この制度は、大気汚染  
の改善に主体を置いた  
補助制度であり、中小企業  
支援として設けたものでは  
ない。補助は、本年度まで  
の期間限定で行われており、  
現在、県は制度の存続と見  
直しを検討中である。県に





は意見を伝えるが、事業の実施は県に合わせる。後付装置は適合車種が限定されている。制度新設での普及は難しいため、補助制度を設ける考えはない。

**庄田博己(未来の会)**

**協働のまちづくり ネットワークづくりを**

**問**

ボランティアが活動しやすい環境づくり、NPOネットワークづくりをする必要がある。市は多様なボランティアに対応できる窓口を役所内に設置する考えはあるか。

**答**

勤労福祉会館内には窓口がある。ボランティアは本来自然発生的なもの

であり、そのときは大きく育てたいと思っている。

**受益者負担と**

**市民サービスの拡大を**

**問**

児童クラブは両親が働いている児童を、無料で預かっている。親の介護等で働けない人、預かってもらえるなら働きたい人にとって不公平ではないか。今までサービスを受けていなかった児童も、広く受け入れていくべきでは。

**答**

県内の児童クラブの半分以上は有料である。公平性を考慮し十七年度からの受益者負担を検討する。

その他の質問

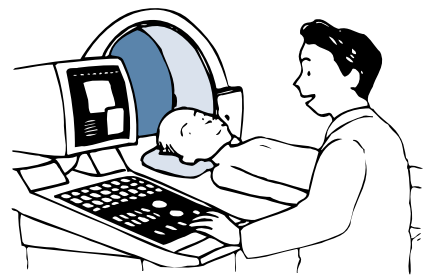
- 1 次世代育成支援計画
- 2 竹島イーストベイ整備計画

**大向正義(未来の会)**

**人間ドックの廃止と基本健康診査の無料を**

**問**

愛知県内で市の事業として人間ドックを実施



しているのは蒲郡市だけである。しかも約二千人しか受診しておらず、一億円の赤字である。一億円の血税を使うなら基本健康診査を無料にした方が市民のためになると思うがどうか。

**答**

人間ドックは市民の健康を守るため必要な事業である。今後も利用者の増加や経費節減に努めたい。

**市役所の休憩時間を改善する考えは**

**問**

総務省は勤務時間の始めや終わりに休憩時間を設定するのは適正でないとし、改善を求めている。また、休憩時間は民間になり「有給の休息」であるが、市民の理解は得られるのか。

**答**

指導の理由は出勤・帰宅時間のずれ防止と理解している。蒲郡市では窓口が混雑する時間帯を避け正午からと勤務時間の終わりにそれぞれ十五分間設定している。帰宅時間は休憩時間終了後である。休憩時間は長時間労働から生じる緊張感の解放などの効果があり、ご理解いただきたい。

**鎌田篤司(新政クラブ)**

**大雨による大量漂着物の港湾等からの回収**

**問**

大量降雨により、主に河川から流出する流木及び生活ごみ等の大量漂着物の除去・回収処分について、当局の対応を伺う。

**答**

市が漂着物の回収・処分に使った費用は、平成十五年度は七百十三万円、平成十六年度は七月末で五百九十二万円を費やしている。ボランティアの協力もあるが、財政的な問題によって、すべてを処理する状況ではない。

港湾等の管理者は愛知県であるので、その都度、漂

流木の清掃に励む市民たち



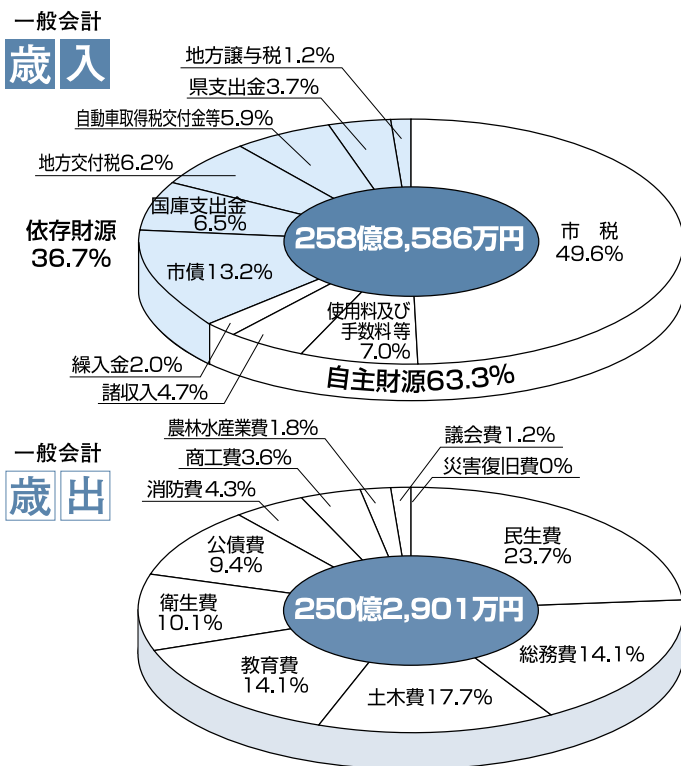
着物の回収・処分をお願いしている。三河港務所との協議で、来年度の回収・処分の費用について、前向きに考えていただくよう検討をお願いしている。

今後については、東三河の沿岸市町の漁業、港湾、観光等の関係者と連携して、知事あてに「漂着物の回収・処分に要する費用の予算化を申し入れる要望書」の取りまとめを進めている。また、知事と県下の市長が課題を協議する「県市懇談会」が十一月に開催される予定である。この場でも蒲郡市から除去・処分を提案する準備をしている。

# 平成15年度一般会計決算 などを議決

9月定例会  
議案

9月市議会定例会は9月8日から22日までの15日間の会期で開き、議案16件を審議しました。主な内容をお知らせします。



## 平成15年度 決算

	歳入	歳出
一般会計	258億8,586万円	250億2,901万円
特別会計	1,120億6,824万円	1,110億6,062万円
企業会計		
水道事業	収益的 18億5,246万円 資本的 1億227万円	17億1,356万円 5億1,102万円
病院事業	収益的 76億9,429万円 資本的 3億7,107万円	85億3,671万円 6億2,443万円

※企業会計は、消費税を含んだ金額。1万円未満は四捨五入。

### 決算審査 特別委員会から

平成十五年度一般会計決算など十二会計決算は、十二人の委員からなる決算審査特別委員会(委員長伊藤勝美、副委員長斉藤泰二)を設置して、九月十四日、十五日、十六日の三日間にわたり審査しました。

#### ●一般会計決算

#### 歳出前年度比 98.3%

一般会計の歳出は、前年度比九八・三%、歳入は同九八・九%でした。

一般会計の歳入から歳出を引いた額は、八億五千六

### 特別会計決算(事業別内訳) 単位:万円(四捨五入)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険	68億7,912	65億9,873	2億8,039
老人保健	69億5,229	69億5,227	2
介護保険事業	31億9,363	31億9,198	165
モーターボート競走事業	892億6,139	890億8,893	1億7,246
土地区画整理事業	25億7,055	24億7,230	9825
公共用地策事業	5億1,077	2億304	3億773
下水道事業	26億4,387	25億2,401	1億1,986
三谷町財産区	5,198	2,631	2,567
西浦町財産区	464	306	158

※決算認定——議会が一会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、内容を審査した上で確認し、認定することであり、議決事項の1つです。

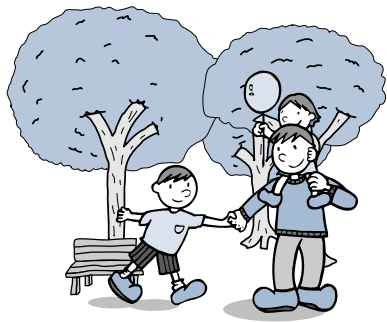
#### ■歳入

#### ●総務費

#### 行政放送

問 先日、ある行事の案内放送が、行事が終わった一週間後にも流されたが、どういうことか。

答 コンピューターに時間を指定して放送することになっていて、行事当日にも放送したが、操作ミスによ



り一週間後にも放送してしまつた。今後は、担当課立会いのもとで機械操作をして再発を防止する。

●民生費

児童遊園地

問 児童遊園地を減らす考えはあるか。

また、遊具の安全性は。

答 児童遊園地、児童遊び場、チビッコ広場は市内に八十数カ所ある。有効利用していただいている遊園地は継続していきたい。また、地元から閉鎖をしてもよいという声があれば、話し合つて対応していきたい。

遊具は、危険のないように年一回業者が点検をしている。

●衛生費

人間ドック

問 人間ドックは市が一億円もちだして実施しているが、その利用人数は。

また、それだけの税金を使い市が実施していくべき事業か。

答 平成十五年度の利用者は二千九十九名である。また、人間ドックは市民の健康に必要な事業であるので、今のところ廃止する考えはない。

●農林水産業費

市民小菜園

問 利用希望の多い市民小菜園を街の中につくることはできないか。

答 場所の選定は農業委員による投票で行っている。

市民小菜園(神ノ郷)



市街地であつても、水や駐車場の確保出来る場所があれば設置することは可能と考える。

●商工費

特産品のアピール

問 県観光協会ホームページの市町村特産品の欄で、

9月定例会の日程

8日	本会議[会期の決定、議案説明、一般質問など] 決算審査特別委員会
9日	本会議[一般質問]
10日	本会議[一般質問]
14日	決算審査特別委員会
15日	決算審査特別委員会
16日	決算審査特別委員会
22日	本会議[委員長報告、質疑、討論、採決など]

蒲郡市には何も掲載がされていない。もつとアピールしていくべきではないか。

答 特産品が、観光とうまく連携していない部分があつた。現在、観光という切り口から特産品にスポットを当てるといふ取り組みを観光PRの中で始めている。

●土木費

ストック活用計画の成果

問 計画策定の結果、今後の市営住宅のあり方はどういふ方向付けがなされたか。

答 平成二十五年までに九団地三百九十戸のうち木造平屋建の四団地は建替え、残り五団地は既設建物の耐震が確保されており、維持改修の方針である。

最終的には四百十戸とする予定だが、現在不足しているシルバー、単身者向け住宅をふやすこととしている。

●消防費

震災対策

問 家具転倒防止器具設置事業があまり利用されていない。利用が進まない理由は何か。

家具転倒防止器具



答 壁、柱、家具に傷が付くことや、取り付け時に他人が寝室や居間に入ることなどに抵抗があるなどのため、利用が進まない。

問 木造住宅耐震診断を受けた家屋の中で、倒壊または大破壊の危険ありとされる総合判定〇・七未満の家屋の割合はどれくらいか。

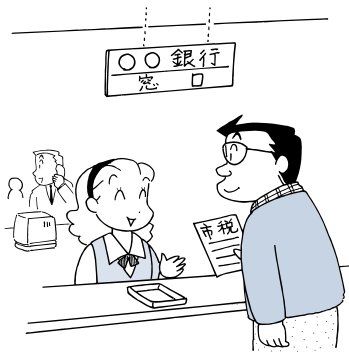
答 約七割の家屋が〇・七未満と判定されている。

●教育費

学校給食で国際理解を

問 子どもたちの国際理解を深めるために、学校給食のメニューに輸入食材の外国産地表示をすることは可能かどうか。





**答** 毎月配付している献立表の中のニュースとして掲載することを検討していきたい。

**■歳入**

**滞納繰越への対応**

**問** 市税、国保税合わせて十八億円を超える滞納がある。滞納者には法的処分を徹底的に実施してもらいたいが、市の対応を伺う。

**答** 軽微な滞納には納税推進員を採用し対応している。慢性的な滞納に対しては豊橋税務署を中心に東三河で一括して滞納整理できるような機構の設立を研究中である。

二年間で国保税と合わせた滞納額を半額にしたい。

● 最近3か年のモーターボート繰出金

単位：万円

会計名	年度	平成15年度	平成14年度	平成13年度
一般会計		0	0	0
特別会計	下水道事業	5億	8億5,000	6億
	水道事業	1,000	1,000	1,000
企業会計	病院事業	11億3,000	11億	11億
	合計	16億4,000	19億6,000	17億1,000

**●モーターボート競走事業 特別会計**

年間の売上額は七百十八億六千九百二十八万円で、前年度比九・二％の減、利用人員は一・二％の増となっています。

**問** 専用場外の売上げが予算計上額と違い過ぎるがなぜか。また、赤字の続く専用場外を廃止する見込みはあるか。

**答** 十五年度から併売をふやしたため、蒲郡独自の売上げが減ったからである。リース期間が終わっても赤字は減らないが、道義的

**●水道事業**

経営収支の状況は一億二千百五十三万円の純利益を計上しました。これは、年間を通じて降雨量が多かったこと、節水意識の浸透などにより、給水収益が減少し、経常収益が前年度に比較して一・九％減少したものの、営業費用の削減がなされた結果、経常費用が前年度に比較して二・九％減少したことによるものです。

**●病院事業会計**

経営収支の状況は、総収



ポトピア川崎

● 最近3か年の市民病院の入院・外来患者数

	平成15年度	平成14年度	平成13年度
入院	131,241	131,021	135,683
外来	284,021	290,542	316,576
合計	415,262	421,563	452,259

益は前年度と比較して一・四％の減、総費用が〇・四％の減で、差し引き九億二千四百六十九万円の純損失となっています。

■ 陳情

- 義務教育費国庫負担制度の堅持と学級規模の縮小に関する陳情書  
提出者 蒲郡市教員組合 執行委員長 水藤彰啓氏ほか 495名  
審査結果 不採択
- 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書  
提出者 酒井園美氏ほか2名  
審査結果 不採択
- 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書  
提出者 酒井園美氏ほか2名  
審査結果 不採択
- 市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書  
提出者 酒井園美氏ほか2名  
審査結果 聞きおく

補正予算

●十六年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ七千四百五十万円が増額され、二百七十四億二千二百五十万円になります。補正の理由は、農林水産業費補助金の増加と道路新築改良事業費の追加です。

その他の議案

●市道の路線認定、廃止及び変更  
二路線を認定し、八路線



■ 9月定例会で審議された議案の一覧

○決算

- ④7 平成 15 年度一般会計歳入歳出決算の認定
- ④8 平成 15 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ④9 平成 15 年度老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑤0 平成 15 年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑤1 平成 15 年度モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑤2 平成 15 年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑤3 平成 15 年度公共用地対策事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑤4 平成 15 年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑤5 平成 15 年度三谷町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑤6 平成 15 年度西浦町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑤7 平成 15 年度水道事業会計決算の認定
- ⑤8 平成 15 年度病院事業会計決算の認定
- 補正予算
- ⑤9 平成 16 年度一般会計補正予算(第 1 号)
- 同意
- ④4 教育委員会委員の任命
- その他
- ④5 意見の陳述(公有水面埋立て - 愛知県・蒲郡市施行)
- ④6 市道の路線認定、廃止及び変更

(○内の数字は議案番号。④7、④8、⑤1 は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

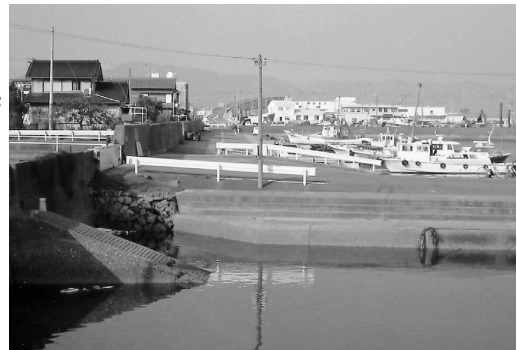
を廃止します。また、十五  
路線を変更します。

●教育委員会委員の任命

委員牧原孝二郎氏及び本  
多英夫氏の任期が平成十六  
年九月三十日に満了するこ  
とに伴い、委員として引き  
続き本多英夫氏、新たに天  
野公道氏を任命することに  
同意しました。

●公有水面の埋立て

愛知県知事から意見を求  
められている西浦町地先の  
公有水面埋立てについて、  
異議のない旨決しました。  
埋立て区域の面積は千百



西浦町地先の埋立予定地

六十八m<sup>2</sup>で、用途は漁港施  
設用地及び道路用地です。

会議録検索システム

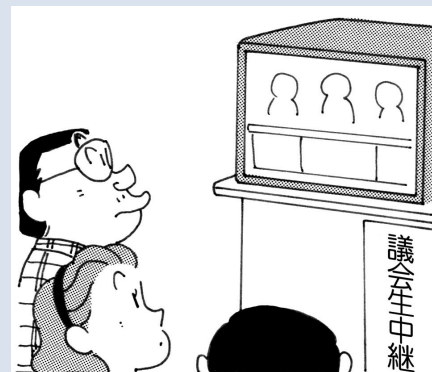
市議会本会議の会議録をインターネットで  
ご家庭から閲覧・検索することができます。  
ぜひ、ご利用ください。

◎ 市議会ホームページ

<http://www.city.gamagori.aichi.jp/gikai/>

議場放映モニター

12月定例会も議会の様子を放映するた  
めのモニターを1階ロビーに設置し、本会議  
の生中継を行います。市役所に寄られた際  
にはぜひご覧ください。



# 委員会通信

## ユニー跡地の売却について報告

九月二日に開かれた総務委員会で、市からユニー跡地の売却について報告を受けました。

売却する土地は、蒲郡駅南公共駐車場の東側の四千七百七十八㎡で、また、隣接の九百六十六㎡も仮換地変

更により処分されます。

市は二年前から、蒲郡駅南の玄関口として、商業施設としての活用をしていただけの購入希望者を探してきました。今回、三河精麦株式会社から他企業への貸し出しを目的として購入の申し出があり、八月十九日に売却の覚書が整ったと報告がされました。

二十九日に市との売却契約が締結されています。」

## 市民会館結婚式場業務の廃止を報告

九月六日に開かれた文教委員会で、市から市民会館サービスセンターの解散議決と結婚式場業務の廃止について報告を受けました。

八月十八日に開かれた市民会館サービスセンターの総会において、サービスセンター解散の議決がされたことにより、同センター運営の結婚式場業務が廃止されることになりました。

結婚式場は、昭和四十八年から平成十五年度末まで、四千五百十二件の利用がありました。ここ数年は年間十数件程度の利用しかありませんでした。

サービスセンターの業務は、都市施設管理協会と市民会館サービスセンターが委託契約を締結して運営しており、今後、委託契約解除の時期、市民会館内のサービスセンターの資産の処分などについて、市教育委員会を含めた三者で協議していくということです。

●文教委での主な質疑  
問 茶室や自動販売機、レストランの業務はどうなるのか。

答 茶室と自動販売機は、都市施設管理協会の業務として運営していくことになると思います。レストランは、サービスセンターとレストラン東海とで協同運営されていましたが、レストラン東海からは単独で運営していきたいという意向を聞いています。

## 他市町村議会からの視察一覧

### 《8月》

- 3日 福井県あわら市／駅南再開発、観光振興
- 4日 広島県府中市／事務事業評価  
神奈川県三浦市／ラグーナ蒲郡、経済振興対策
- 5日 千葉県市原市／クリーンセンター、リサイクルプラザ、ユトリーナ蒲郡  
富山県大沢野町／事務事業評価システム
- 19日 和歌山県吉備町／クリーンセンター、リサイクルプラザ、ユトリーナ蒲郡
- 25日 宮城県気仙沼市／ラグーナ蒲郡
- 26日 碧南市／オレンジホーム

### 《9月》

- 28日 青森県百石町／行政改革、健康がまごおり 21 計画、介護保険、三河湾環境チャレンジ、ラグーナ蒲郡

### 《10月》

- 4日 神奈川県寒川町／商店街活性化、駅南再開発
- 5日 島根県大田市／商店街活性化、観光振興  
沖縄県北谷町／ラグーナ蒲郡
- 6日 茨城県十王町／駅南再開発、農業振興  
静岡県由比町／ラグーナ蒲郡
- 7日 東京都墨田区／観光ビジョン、ラグーナ蒲郡
- 8日 宮城県利府町／商店街活性化、観光振興
- 12日 長野県上田市／クリーンセンター、リサイクルプラザ、ユトリーナ蒲郡、ラグーナ蒲郡
- 13日 群馬県神流町／生きがいセンター、保健センター
- 15日 神奈川県茅ヶ崎市／ラグーナ蒲郡、情報ネットワークセンター・生命の海科学館、水族館
- 21日 京都府長岡京市／駅南再開発、中心市街地活性化
- 22日 長野県小諸市／議会運営
- 25日 東浦町／観光振興
- 26日 茨城県古河市／議会運営
- 27日 大分県宇佐市／クリーンセンター、リサイクルプラザ、ユトリーナ蒲郡





## 常任委員会の 行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、総務・経済・文教の3常任委員会が行政視察を行いました。その概要をお知らせします。



### ●経済委員会 7月28日～30日

経済委員会は、7月28日から30日にかけて福岡県久留米市、北九州市、山口県下関市を視察しました。とんこつラーメン発祥地久留米市では、ラーメンでまちを活性化した経緯等を伺いました。北九州市では門司港レトロ地区の観光振興と今年からナイターレースを始めた若松競艇場を見学しました。下関市ではリサイクル啓発施設で先進のごみ減量対策と市民への啓発策について説明を受けました。



まちの活性化策を聞く（久留米市）

### ●総務委員会 8月3日～5日

総務委員会は、8月3日から5日にかけて兵庫県龍野市、愛媛県新居浜市、高知県南国市を視察しました。視察項目は、龍野市が消防緊急通信指令システムとフレッシュパトロール、新居浜市が行政評価システム、南国市が災害情報システムについてです。

龍野市の消防システムは、平成15年度に整備され、通信業務のシステム化により火災・救急・救助活動の指令系統が一本化され消防力の有効活用が図られていました。



龍野市の消防緊急表示モニターを視察

### ●文教委員会 7月20日～23日

文教委員会は、7月20日から23日にかけて北海道網走市、旭川市、江別市、北広島市を視察しました。視察項目は網走市が文化交流センター、旭川市が子育て支援事業、江別市が高齢者筋力向上トレーニング事業、北広島市が市民サービスコーナー、図書館についてです。

江別市の筋力向上トレーニング事業は、運営を社会福祉法人に委託し、高齢者の筋肉の活性化、要介護化予防を図るものでした。



江別市の高齢者筋力向上トレーニング事業を視察

### 十二月定例会の 開会日・日程は

十二月市議会定例会は、十二月一日(水)から開かれる予定です。

詳しい日程をお知りになりたい方は、十一月二十五日に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。

本会議の傍聴を希望される方は、会議当日、市役所七階の議会事務局で手続きをしてください。

また、本会議の日程と一般質問の内容は、市役所一階のロビーやインターネットのホームページでもお知らせします。

### 議会だよりは 点字版とテーパー版も 発行しています

がまごおり議会だよりは目の不自由な方向けに、番号、点字版とカセットテープ版を発行しています。

点字版は、点訳奉仕グル



ープ「あい」の皆さん、カセットテープ版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは、市内JR三駅のほか市民病院や市役所出張所にも置いてありますので、ご自由にお持ちください。なお、インターネットでもご覧いただけますので、アクセスしてください。

## 議会日誌

7月24日から10月31日

### 7月

28日～30日  
経済委員会行政視察

### 8月

3日～5日  
総務委員会行政視察  
27日 議会運営委員会理事会  
30日 9月定例会招集告示  
議案説明会

### 9月

2日 議会運営委員会  
総務委員会  
3日 経済委員会  
6日 文教委員会  
8日～22日  
9月定例会  
22日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会

### 10月

7日 議会だより編集委員会  
13日～15日  
経済委員会行政視察  
18日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会  
25日 経済委員会  
26日～28日  
総務委員会行政視察

## こちら編集委員会 66-1169

9月議会は一般会計決算などを審査し、認定する大切な議会です。今年度も決算審査特別委員会の審査の過程でそれぞれの立場から真剣に評価をして、平成17年度の予算編成に反映させることができるように議員一人ひとりが市民の代表として理事者と意見をたたかわせました。

厳しい財政事情の中、一人でも多くの皆さま方の声を市政に反映させて安全で安心の「暮らしやすい」蒲都市の実現に努めています。

これからも開かれた議会を目指し、この「議会だより」を通して議会のようなすを報告させていただきますので、皆さま方の建設的なご意見を積極的に寄せさせていただきますようお願いいたします。

## 議員の寄付は 罰則をもって禁止されています

## 有権者が求めることも 禁止です

年賀状等のあいさつ状 祭り等の寄付 お歳暮など

